

[2008年度研究助成選考結果]

去る3月10日当財団の第50回選考委員会において、新規応募41件に対して下記14件が採択されました。
また、昨年からの継続研究10件はいずれも助成が認められました。2008年度は併せて24件を助成いたします

〔学術研究〕

研 究 課 題	代表研究者	所 属
分子生物学的手法を用いた多摩川河口域の細菌群集モニタリング	今田 千秋	東京海洋大学大学院 教授
多摩川流域に生息する魚類の遺伝子情報に基づく水域ネットワークの保全計画に関する研究	西田 一也	東京農工大学大学院連合農学研究科 博士特別研究生
多摩川生息魚類の腸内および周辺環境水の細菌叢に及ぼす化学物質の影響	浦野 直人	東京海洋大学海洋科学部海洋環境学科・教授
多摩川における“ツル植物”の繁茂が河川生態系に及ぼす影響の解析・評価と対策指針の検討	佐々木 寧	NPO河川生態市民モニタリング研究会 代表理事
明治・大正期の別邸敷地選定にみる国分寺崖線の風景文化論的研究	笠原 知子	東京工業大学大学院 社会理工学研究科社会学専攻 助教
多摩川に集う人の癒し効果：ストレス緩和調査に基づく多摩川に関わる自然保護活動	杉田 克生	千葉大学教育学部 教授
音や音声を活用した多摩川環境学習システムのプロトタイプに関する研究	生田 茂	筑波大学人間総合科学研究科 教授

〔一般研究〕

研 究 課 題	代表研究者	所 属
市民参加調査による多摩川における洪水攪乱後の礫河原鳥類の動態についての研究	島田 高廣	特定非営利活動法人自然環境アカデミー 代表理事
水害防備林の立地と自律的水制機能発達に関する定量的評価と伝統的治水工法の変容	長尾(中山) 朋子	学校法人東京女学館中学・高等学校 教諭
多摩川流域市民学会の開催	長谷川 博之	都立富士森高校 教諭
西暦2010年の多摩川を記録する運動	横山 十四男	NPO法人多摩川センター 元代表
交響詩「多摩川の流れば絶えずして138」のコンサート活動を通して環境の啓発活動	仙道 作三	作曲家
玉川碑関係史料集の刊行	稲葉 和也	万葉名歌 玉川碑に集う会 会員
多摩川下流都市における谷戸の実際 ～生態学的現状と資源的展望～	長谷川 友紀	武蔵工業大学付属高等学校 在学中